

科目ナンバー	CUS-1-001-k			科目名	東アジア比較文化論		
教員名	呉 宣児			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	西洋対東洋の構図になるときは一括りされるアジアだが、地域・国々によって生活スタイル・考え方はそれぞれ異なる。相手をは配慮して親切にしたつもりが相手を傷つける結果となったり、意図しない差別が起こったりする。本授業では、このような現象を映画を教材に用いながら、「当然」と思っていることが、生活圏が異なる人々の間にずれていることに気づきながら、「文化」を新たに捉えて、異文化理解やそのための方法について知見を深める。						
到達目標	(1)「私たち」が、「当たり前」すぎて何の疑問も持たない事物に対して、「他者達」の視点を知ることを通して「私たち」を新たに捉えてみる。日常の当たり前から一歩抜け出した視点を持つことが最大の目標である。 (2) 異なる他者との出会いの中で、もう一度自分・自文化を理解し、他文化・多文化と共生を意識するようになる。 (3)グループ討論を通して、他者・多文化理解力をたかめ、コミュニケーション力を高める。 (4)常に、自分の意見・感想が述べるなかで、他者と比較しながら思考力・書く力を高める。						
「共愛12の力」との対応							
識見			自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度	○		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド			主体性		関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	・基本テキストは日本、韓国、中国の映画である。毎回、映画を見て、違和感を感じる箇所を手がかりにグループ討論を行い、「文化」を浮き彫りにする。そして、さらに、4カ国の人々が生きた指定の本を読んで、自分たちでは気づいていない点を見つけ出す。この繰り返しの実践活動のなかで、「文化とはなにか」が浮き彫りにしつつ、テーマに合わせて、講義も行う。・導入講義映画視聴・文化コードでの感想を書くグループ討論まとめの講義を3～4コマを1セットにして、4セット行う。 指定の資料やコメントはムードで共有する。						
アクティブラーニング	○		サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特になし						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常の授業への参加・貢献度30%:グループ討論への参加度・毎回の感想など(2)ミニレポートA4用紙1枚×4回 40%:映画を観終わるたびに、指定テキストの範囲を読んで感想文を提出。(3)最終レポート30%:半年間扱った内容からテーマを一つ選び、資料の観点と自分の観点を比較しながらレポート作成する。						
教材	・映画は授業時間に視聴。中国、日本、韓国の映画と最後に日韓共同制作された映画を用いる。・テキスト:アジア映画をアジアの人々と愉しむ 山本登志哉・伊藤哲司(編) 北大路書房 2004年北大路書房 ISBN4762824704						
参考図書	①多文化世界違いを学び共存への道を探る G.ホフテート著 岩井紀子・岩井八郎訳 有蓋閣 1995年②日韓傷ついた関係の修復 伊藤哲司・山本登志哉(編) 北大路書房 2011年③その他、必要に応じて授業時に資料を配付する						

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	オリエンテーション		
授業外学修内容		時間数	
2週目			
授業学修内容	＜中国編①＞ まずは、「自分で考えてみる」ために文化講義なしにまず映画を視聴する。みたところまでの「違和感・共感」をさがし、ミニ感想を提出。		
授業外学修内容	テキストの指定範囲を読んでください。	時間数	0.5
3週目			
授業学修内容	＜中国編②＞ 映画の続きを視聴。見終わった後、23のテーマを用いてグループ討論を行い、グループの発表をする。		

授業外学修内容	指定の資料を読んでA42枚に要約を感想を書いて提出する。	時間数	4
4週目			
授業学修内容	＜中国編③＞ 全員のレポートを用いて、グループ討論を行ってから、担当教員の講義。中国映画で見られる現象について、それぞれの国の人、受講生がどのように理解・解釈しているかを講義。		
授業外学修内容	テキストの指定範囲を読んで、A4用紙に感想を書いて授業時間に持ってきてください。このミニ感想文を用いてグループ討論を行います。	時間数	2.5
5週目			
授業学修内容	＜文化講義＞ 改めて、文化とは何か、文化とはどう捉えられているのかに於いて、比較文化心理学の観点から説明する。本授業のねらいを再び再認識する。		
授業外学修内容	指定の資料を読んで要約と感想をA41～2枚に書いて授業に持ってきてください。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	＜日本編①＞ 導入講義、日本映画視聴、ミニ感想の提出。		
授業外学修内容	指定の資料を読んでください。	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	＜日本編②＞ 続けて日本映画視聴。映画見終わったあと、グループ討論。		
授業外学修内容	指定の資料を読んでください。	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	＜日本編③＞ 受講者のレポートを用いて、グループ討論をしてから、教員による講義。ミニ感想を提出。		
授業外学修内容	テキストの指定範囲を読んで、A4用紙に感想を書いて授業時間に持ってきてください。このミニ感想文を用いてグループ討論を行います。	時間数	2.5
9週目			
授業学修内容	＜韓国編①＞ 導入講義、韓国映画視聴。ミニ感想を提出。		
授業外学修内容	指定の資料を読んでください。	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	＜韓国編②＞ 韓国映画視聴、23のテーマでグループ討論と発表。ミニ感想を提出。		
授業外学修内容	指定の資料を読んで、要約と感想をA4用紙1～2枚に書いて授業に持ってきてください。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	＜韓国編③＞ グループ討論をしてから、韓国映画から捉える文化(講義)ミニ感想提出。		
授業外学修内容	テキストの指定範囲を読んで、A4用紙に感想を書いて授業時間に持ってきてください。このミニ感想文を用いてグループ討論を行います。	時間数	2.5
12週目			
授業学修内容	＜日韓共同編①＞ 導入講義、日韓共同映画視聴。ミニ感想提出。		
授業外学修内容	指定の資料を読んでください。	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	＜日韓共同編②＞ 日韓共同映画視聴、グループ討論ミニ感想提出。		
授業外学修内容	指定の資料を読んでください。	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	＜日韓共同編③＞ 日韓(中)における認識の同異、グループ討論をしてから、講義。ミニ感想提出。		
授業外学修内容	テキストの指定範囲を読んで、A4用紙に感想を書いて授業時間に持ってきてください。このミニ感想文を用いてグループ討論を行います。	時間数	2.5
15週目			
授業学修内容	まとめの講義・留学生と日本人学生の交流討論		
授業外学修内容	期末レポートの提出	時間数	6

上記の授業外学修時間の合計	27
その他に必要な自習時間	63

Number	CUS-1-001-k	Subject	Comparative Cultures of East Asia			
Name	吳 宣兎(Oh Seon Ah)	Year and Semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course Outline	When it becomes the West vs. the East composition, generally a whole part of Asia is placed in the same category, but lifestyles and ways of thinking differ depending on the region and countries. Actions taken to be considerate and friendly can result in damaging the others and lead to unintended discrimination. In this class, while using movies as teaching materials, realizing that things we have thought as "natural" differs among people with different living areas. We will take a new view of "culture" and learn more about cross-cultural understanding.					